『ＱＣサークル』誌　2026 年 11 月号　見どころ，読みどころ

★トップからのメッセージ

表 2～

長岡赤十字病院　院長　藤田　信也さん

「全職員 One Team」の理念のもと、多職種が連携しながら全人的医療を実践する病院づくりを目指しています。BSC による目標共有と QC サークル活動を両輪に、現場職員が主体となって課題発見から改善まで取り組む文化を醸成。医療の質向上だけでなく、職種間の相互理解や働きやすい職場づくり、心理的安全性の向上にもつなげています。院長自ら発表会に参加し活動を後押しする姿勢からは、改善を継続する組織風土への強い思いが伝わります。地域医療を支える中核病院として、職員一人ひとりの力を結集し、患者と地域に選ばれる病院を目指す長岡赤十字病院の取組みについて、藤田院長に話を伺います。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.3～

拓南製鐵㈱

沖縄県唯一の製鉄企業である拓南製鐵は、創業 70 周年を迎えた今も「拓鐵興琉」の理念のもと、地域の発展と循環型社会への貢献を追求しています。同社では全社的な改善活動を「チーム活動」として展開し、製造部門から間接部門まで幅広く定着。社長診断や事業所長ヒアリングなど経営陣が現場に深く関わり、対話を重ねながら活動を後押ししています。今回紹介する圧延班 A 班は、長年協力企業を悩ませていた製品の飛出し不具合に挑戦。固定観念を見直し、粘り強い分析と検証によって問題を根本解決しました。改善を通じて人材育成や職場の一体感を高め、「楽しく続ける改善文化」を育む拓南製鐵の取組みに迫ります。

★特集：「三直三現」できていますか？

p.9～

「あの時やっておけばよかった」という後悔を改善活動で繰り返さないために、問題発生時に「直ぐに現場へ行き、直ぐに現物を見て、直ぐに現実を把握する」という“三直三現”の重要性を、多彩な事例を通じて解説します。製造現場や医療現場、間接部門、さらには家庭菜園まで、業種や場面を超えて共通するのは、初動の遅れが真因の見逃しや対策の手戻りを招くという点です。DX・IoT を活用した設備監視、NICU での採血待ち時間短縮、生成 AI による暗黙知の継承など、時代に即した実践例も紹介。さらに「現場にいるだけでは三直三現ではない」という本質や、「止める・呼ぶ・待つ」の行動原則にも触れ、改善活動の質を高めるための実践的なヒントを提供します。現状把握の精度向上と再発防止につながる“直ぐ”の価値をぜひ再発見してください。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QC サークル活動をより楽しく進めるために～

p.24～

第 11 回 選定した成功シナリオの実行計画を作成し、ねばり強く着実に実施しよう！

課題達成型 QC ストーリー5 回目となる今回は、選定した成功シナリオを「ねばり強く、着実に実行するための工夫」について解説します。パン売場の売上向上を目指す仮想サークルの活動を題材に、実施項目を単独の施策ではなく“つながりのある流れ”としてとらえる重要性を紹介。アローダイヤグラムやガントチャートを活用した実行計画の見える化、チェックリストによる役割分担と判断基準の明確化、日々の振り返りによる PDCA の実践など、実行力を高める具体的な方法をわかりやすく解説しています。さらに、実施中に得られた気づきを新たな改善につなげる考え方も紹介。「つながりで納得と再現性を高める」、「やる仕組みで実行力を高める」という視点から、改善活動を成功へ導く実践的なヒントをぜひ参考にしてください。

★サークル Q&A　ただいま出動 QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

P.30～

カルテ 203　活動報告書に後づけで現状把握を書いている

現状把握からステップを踏んで、QC サークル活動を行えるようにする指導方法や仕組みづくりを知りたいというお悩みについて、編集委員がアドバイスします。

★体験事例＆ワンポイント事例

今月は，体験事例 2 件、ワンポイント 1 件を紹介します。

体験事例：p.32～

1. Astemo㈱　佐和工場「エコロジーサークル」
   「樹脂充填機における 2D コード読取り異常の撲滅」
2. トヨタ自動車九州㈱　宮田工場「BCDX サークル」
   「排水処理場監視体制強化による異常水流出未然防止」

ワンポイント事例：p.40～

1. ㈱デンソー岩手「夢はきっと叶夢サークル」
   「平面切削工程のダクト交換作業改善」

★私たちの活動を紹介します！〈JHS（含む医療・福祉）部門編〉

P.46～

社会福祉法人 ひかり苑　グループホームひかり苑「ウィッシュサークル」

「見える安心を提供する」をテーマに、ご利用者とご家族の満足度向上に挑戦しました。ご家族への定期連絡や写真共有の強化、LINE・Instagram を活用した情報発信、個別支援やイベントの充実など 18 項目の改善を実施。その結果、ご家族満足度は 36%から 71%へ大幅に向上し、「安心できる」、「楽しそう」といった声が増加しました。多職種 5 名が連携し、ご利用者目線を大切にしながら信頼関係の構築とサービス向上を実現した、福祉現場における優れた改善活動事例です。

★ＱＣ検定道場

P.48～

第 11 回 人材育成，工程能力指数

「QC 検定道場」では、品質管理検定（QC 検定）3 級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。今月は、QC 検定 3 級の過去問題から、「人材育成」と「工程能力指数」について重要な問題を詳しく解説します。

★連載講座： 職場で使える心理学～ QC サークル活動を、考え・工夫し・成長する活動とするために～

p.54～

第 5 回　Q&A 心理学で改善活動を考えてみよう！

QC サークル活動でよく見られる人間関係やコミュニケーションの悩みを、心理学の視点からわかりやすく解説します。今月は、「何でも反対する人」、「無関心に見えるメンバー」、「自信過剰な推進者」、「発言が出ない会合」、「責任逃れをするリーダー」といった現場の課題を取り上げ、その行動の背景にある心理と具体的な対応策を紹介します。相手を変えるのではなく、相手を理解し成長を支援する関わり方を通じて、よりよいチームづくりを目指します。本講座を参考にして、QC サークル活動を成果だけでなく“人づくりの場”としてとらえ直し、メンバーの主体性や信頼関係を高めていきましょう。

☆『ＱＣサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？
会社や自社製品の PR の場として，ぜひご検討ください！
詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ +++++++++++++++++++++++++++++++++++
一般財団法人 日本科学技術連盟　『ＱＣサークル』誌編集
TEL：03-5378-9817　E-mail:：editoqcc@juse.or.jp